

第94回国際キワニス年次総会ナシュビル大会

日時： 2009年6月25日（木）～28日（土）
場所： 米国テネシー州ナシュビル市 Sommet Center、Nashville
Convention Center、
Renaissance Nashville Hotel



参加者： 5,500名以上、内代議員約3,100名 日本からは9名（内スタッフ1名）

開会式・閉会式

国際会長挨拶、ナシュビル市長の歓迎挨拶のほか映像、パフォーマンスが入り賑やかに行われた。またワールド・サービス・メダル贈呈がマラリヤ撲滅活動に貢献のあった Donald Gray Heppner 米陸軍軍医大佐に対し行われた。

Don Canady 国際会長は次代を担う子ども達への奉仕の重要性とこれを広げるためのキワニスの拡大（会員増強、クラブ新設）を強調した。

閉会式では、先の IDD（ヨード欠乏症対策）募金のような全世界のキワニスに参加して行う奉仕活動プロジェクト構想の公募が発表された。本年9月末まで公募し、来年の世界大会で発表されることとなっている。



代議員大会

① 役員選挙

次の期の会長は次期会長（President-Elect）が、次期会長には副会長が昇格するので実質的に選挙が行われるのは副会長（Vice-President）、今回は3名の立候補があり、決選投票の結果、オハイオ州 Medina クラブの A. Alan Penn が当選。Region I（米国）選出の国際理事3名の選挙も行われた。この結果来期の国際キワニス理事会は、



Paul G. Palazzolo 国際会長、Sylvester Neal 次期国際会長、Donald R. Canaday 前国際会長、A. Alan Penn 国際副会長の4名と、新任理事3名を含む15名の国際理事で構成されることになる。（CEOは投票権はないが、理事会には出席する。）

投票は電子式で行われ、即時に結果が表示された。

② 規約改正

4 項目の改正案が提案されていたが、いずれも日本地区には関係のない項目であった。このうち北米地区の夫婦会員についてのどちらかの機関紙購入義務を免除している規定の削除は否決された。採決は電子投票により行われた。恒例の大会決議は行なわれなかった。

③ Distinguish Districts の表彰

2007-2008 年の“Distinguish District”として日本地区も他の 9 地区と共に表彰され、清重前ガバナー、横山事務総長に記念品が贈られた。



日本地区代議員席

フォーラム

大会会場では延べ 60 前後のフォーラムが開催され、ASPAC および KIEF (キワニス・ヨーロッパ連合) の紹介、キワニス・クラブの運営 (写真技術、文章作成、広報対策等)、会員増強、クラブ新設等のテーマでレクチャーがおこなわれ、大会参加のキワニス会員の教育、訓練の場となっていた。

展示

今回は従来の活動別展示、他の奉仕団体、関連商品の展示に加え、“キワニス・ヒット・パレード”と銘打って個別クラブの展示ブースが設けられ、その活動状況を紹介する展示が行われた。展示ブースの数は必ずしも多くはなかったが、主として米国のキワニスクラブがどのような活動を行っているかを垣間見ることが出来、参考になった。日本地区は



YCPO のブースのドール展示に協力した。日本地区がキワニス・ワンデイで行ったキワニス・ドール・シンポジウムの DVD (英語タイトル入り) を繰り返し放映するとともに、ミキ・Cunat 夫人の肝いりで米国のいくつかのクラブから総計 5 百個のドールが持ち込まれ、無料配布し、ドールの PR を行ない、大きな関心を集めた。

ASPAC 役員会

この機会に ASPAC 役員会を開く予定であったが、正副議長、次期議長全てが欠席で、開催できなかった。かなり時間をとって議論する予定であった“One Kiwanis”問題について、ボランティア参加のタスクフォースを作り、議論を続けることが申し合われた。

次回以降の国際年次総会

第 95 回大会 日時：2010 年 6 月 24 日－27 日 場所：米国ネヴァダ州ラスベガス

第96回大会 日時：2011年7月7日-10日 場所：スイス ジュネーブ